



2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年2月1日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社インテリジェント ウェイブ
 コード番号 4847 URL <https://www.iwi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 邦光
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 小川 広将 TEL (03)6222-7015
 四半期報告書提出予定日 2023年2月3日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の業績 (2022年7月1日~2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	6,789	38.9	803	67.8	824	64.9	558	65.1
2022年6月期第2四半期	4,887	△6.9	478	18.0	499	18.7	337	18.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	21.23	—
2022年6月期第2四半期	12.85	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	12,582	8,156	64.8
2022年6月期	12,740	8,039	63.1

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 8,156百万円 2022年6月期 8,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2023年6月期	—	0.00			
2023年6月期(予想)			—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年6月期の業績予想 (2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	13,500	17.5	1,800	18.4	1,840	18.2	1,280	21.2	48.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期2Q	26,340,000株	2022年6月期	26,340,000株
② 期末自己株式数	2023年6月期2Q	60,051株	2022年6月期	56,851株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期2Q	26,281,264株	2022年6月期2Q	26,288,149株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2023年2月3日(金)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。また、当日使用する説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における国内経済は緩やかに持ち直しており、企業収益や業況感の一部に弱さが見られるものの、全体としては改善をしました。

当社の主要な事業領域であるクレジットカード業界においては、個人消費の持ち直しにより、クレジットカード会社の取扱高も、前年の実績を上回って推移しています。

こうした事業環境の中、当社は2025年6月期を最終年度とする3カ年中期事業計画を推進しています。事業構造の変革や事業領域の拡大による事業基盤の強化、拡大を進めるとともに、自らの持続的成長に向けて、人財基盤と共創基盤の確立に取り組んでいます。

事業基盤の強化、拡大においては、当社が強みをもつ決済業務に係るシステム開発を基礎として、クラウドサービスの成長によるストックビジネスの拡大と、決済データの活用や顧客のIT戦略支援による決済事業領域の拡大、及び、決済・金融以外の産業のDXに貢献するIT基盤の提供による事業領域の拡大を進めています。

当第2四半期累計期間の業績は、売上高については、既存顧客のFEPシステム※更改によるハードウェア販売やクラウドサービスの利用ユーザー数の増加、クレジットカード会社向けシステム開発の大型案件等により、6,789百万円（前年同期比38.9%増）となりました。営業利益については、ハードウェア販売やシステム開発の売上増加等により、803百万円（前年同期比67.8%増）となりました。この結果、経常利益824百万円（前年同期比64.9%増）、四半期純利益558百万円（前年同期比65.1%増）となりました。

クラウドサービスについては、売上高は881百万円（前年同期比78.7%増）、売上総利益は25百万円（前年同期比108.3%増）となりました。売上高については、前期に受注が大幅に増加し伸張しています。一方で利益については、前年同期比では増加しましたが、一部サービスにおいて利用ユーザー数の拡大による体制強化の費用が増加したため、期初想定していた利益は下回っています。今後は、運用体制を抜本的に見直し、早期の収益改善に取り組んでいきます。

当社は、決済領域では主にクレジットカード会社のFEP(Front End Processing)システムや不正検知システムの開発を行っています。システムの中核は「NET+1(ネットプラスワン)」「ACEPlus(エースプラス)」等の自社製品で構成しており、例えば、FEPシステムの開発では、自社製品販売と、顧客の機能要件に合わせてカスタマイズするシステム開発、開発したソフトウェアを搭載するハードウェア販売の売上がそれぞれ計上されます。

また、セキュリティ領域では、企業組織の内部情報漏えいを防ぐ自社製品と、サイバーセキュリティ対策のための他社製品の開発・販売を行っています。

※ FEPシステム：クレジットカード決済処理に必要なネットワーク接続やカード使用認証等の機能をもつハードウェア、及びソフトウェア

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末に比べ158百万円減少し、12,582百万円となりました。うち流動資産は、前事業年度末に比べ680百万円減少し、7,594百万円となりました。これは主に、現金及び預金が404百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が1,028百万円減少したためです。

固定資産は、前事業年度末に比べ522百万円増加し、4,988百万円となりました。これは主に、有形固定資産166百万円及び無形固定資産325百万円の増加があったためです。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末に比べ275百万円減少し、4,425百万円となりました。これは主に、未払消費税等79百万円、未払費用48百万円、前受金54百万円の増加がありました。支払手形及び買掛金524百万円の減少があったためです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ117百万円増加し、8,156百万円となりました。これは主に、利益剰余金111百万円の増加によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、4,336百万円(前年同四半期累計期間末は3,610百万円)となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、1,717百万円の収入(前年同四半期累計期間は297百万円の収入)となりました。主な内訳としては、税引前四半期純利益824百万円、減価償却費447百万円の計上、売上債権の減少額1,082百万円、仕入債務の減少額568百万円があったためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、864百万円の支出(前年同四半期累計期間は649百万円の支出)となりました。これは主に、販売目的及び自社利用のソフトウェアの構築を主とする無形固定資産の取得による支出660百万円があったためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、447百万円の支出(前年同四半期累計期間は345百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額445百万円があったためです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月3日付「2022年6月期 決算短信」で公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,932,647	4,336,685
受取手形、売掛金及び契約資産	2,723,400	1,694,930
有価証券	300,381	300,084
棚卸資産	313,359	354,403
その他	1,004,436	907,953
流動資産合計	8,274,224	7,594,057
固定資産		
有形固定資産	706,395	872,649
無形固定資産		
ソフトウェア	1,640,255	1,859,529
その他	409,584	515,519
無形固定資産合計	2,049,839	2,375,048
投資その他の資産		
投資有価証券	916,484	927,768
その他	793,824	813,101
投資その他の資産合計	1,710,309	1,740,869
固定資産合計	4,466,543	4,988,568
資産合計	12,740,768	12,582,625
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	940,780	415,805
未払法人税等	331,611	353,200
前受金	1,885,029	1,939,496
賞与引当金	289,341	281,798
役員賞与引当金	45,885	30,293
その他	543,134	727,141
流動負債合計	4,035,783	3,747,737
固定負債		
退職給付引当金	552,279	576,724
役員退職慰労引当金	22,565	10,945
資産除去債務	87,554	87,588
その他	3,421	2,817
固定負債合計	665,820	678,075
負債合計	4,701,603	4,425,813

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,750	843,750
資本剰余金	573,099	573,099
利益剰余金	6,199,843	6,311,039
自己株式	△26,712	△26,712
株主資本合計	7,589,980	7,701,176
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	449,184	455,635
評価・換算差額等合計	449,184	455,635
純資産合計	8,039,164	8,156,812
負債純資産合計	12,740,768	12,582,625

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年7月1日 至2021年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)
売上高	4,887,281	6,789,862
売上原価	3,390,064	4,669,260
売上総利益	1,497,217	2,120,602
販売費及び一般管理費	1,018,496	1,317,122
営業利益	478,720	803,479
営業外収益		
受取利息	360	340
受取配当金	23,107	24,344
その他	3,302	5,257
営業外収益合計	26,770	29,943
営業外費用		
コミットメントフィー	2,939	2,765
為替差損	927	5,220
その他	1,848	1,247
営業外費用合計	5,716	9,234
経常利益	499,774	824,189
特別利益	—	—
特別損失	—	—
税引前四半期純利益	499,774	824,189
法人税、住民税及び事業税	50,207	320,523
法人税等調整額	111,641	△54,343
法人税等合計	161,848	266,179
四半期純利益	337,925	558,009

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	499,774	824,189
減価償却費	402,295	447,207
株式報酬費用	22,605	16,880
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△86,133	△7,542
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25,382	△15,591
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,811	24,445
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,197	△11,620
受取利息及び受取配当金	△23,467	△24,685
コミットメントフィー	2,939	2,765
売上債権の増減額 (△は増加)	△142,606	1,082,937
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△124,367	△41,043
仕入債務の増減額 (△は減少)	47,441	△568,927
その他	△110,593	266,588
小計	467,120	1,995,603
利息及び配当金の受取額	23,463	24,680
コミットメントフィーの支払額	△2,565	△2,393
法人税等の支払額	△190,497	△300,579
営業活動によるキャッシュ・フロー	297,521	1,717,311
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△102,727	△216,601
無形固定資産の取得による支出	△561,807	△660,842
投資有価証券の取得による支出	△1,173	△1,984
貸付金の回収による収入	1,080	80
保険積立金の解約による収入	14,808	14,840
その他	△21	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△649,842	△864,568
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△4,893	△2,033
配当金の支払額	△340,543	△445,736
財務活動によるキャッシュ・フロー	△345,437	△447,770
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,041	△933
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△696,715	404,038
現金及び現金同等物の期首残高	4,307,699	3,932,647
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,610,983	4,336,685

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第2四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

(追加情報)

前会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しています。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高		
ソフトウェア開発	1,978,839	2,346,664
当社製品	285,280	110,590
システムサービス	16,300	15,407
他社製品	157,483	1,220,623
保守	1,278,296	1,496,994
他社製品保守	307,416	351,550
サービス自社	624,718	997,765
サービス他社	238,947	250,265
合計	4,887,281	6,789,862
収益認識の時期		
一時点で移転される財及びサービス	1,393,514	2,420,745
一定期間にわたり移転される財及びサービス	3,493,767	4,369,117
合計	4,887,281	6,789,862